

令和 7 年度

業 務 概 要

宮崎県身体障害者相談センター

目 次

I 沿 革	1
II 施 設 の 概 要	1
1 所在地	
2 施 設	
III 組織及び職員数 （令和7年度）	2
IV 業 務 の 内 容	2
1 身体障害者更生相談所関連業務	3
（1）相談支援事業	
（2）判定・手帳交付事業	
（3）普及啓発事業	
2 高次脳機能障がい総合相談・支援拠点業務	4
（1）相談支援事業	
（2）普及啓発事業	
（3）研修事業	
（4）高次脳機能障がい通所教室運営事業（令和7年度～）	
判定・相談等日程表	5
V 令和6年度 業務の実施状況	7
1 相談・判定全般の状況	7
2 判定業務の実施状況	8
3 障がい者電話・来所等相談状況	12
4 地域リハビリテーション推進の状況	13
5 身体障害者手帳交付状況	14
6 情報提供・研修等の実施状況	16
7 高次脳機能障がい支援の実施状況	17
資 料 編	
1 令和6年度 身体障害者手帳市町村別交付状況	20
2 令和6年度 更生医療判定（市町村別・内容別）件数	21
3 令和6年度 補装具判定（市町村別・種類別）件数	22

I 沿革

「宮崎県身体障害者相談センター」の前身となる「宮崎県身体障害者更生相談所」は、昭和27年9月に宮崎市恒久に設置された。その前年（昭和26年4月）に設置されていた「宮崎県身体障害者更生指導所」及び義肢製作所（昭和27年6月に宮崎県身体障害者更生指導所に統合）との併設であった。

その後、身体障害者授産施設を併設（昭和31年12月）するなどして業務を拡大していった。昭和44年4月、施設の老朽化、狭小化等に伴い、宮崎市大島町に新築移転した。これを機に「宮崎県身体障害者更生相談所」と「宮崎県身体障害者福祉センター」の併設となった。

移転後、盲人福祉館及び向陽園が順次設置された。昭和47年4月「宮崎県身体障害者福祉センター」が「宮崎県身体障害者総合福祉センター」と名称変更し、「宮崎県身体障害者総合福祉センター」と「宮崎県身体障害者更生相談所」の併設となった。

平成7年4月、障がい者の高齢化や障がいの重度化等に対応するため、リハビリテーション提供機能や情報処理機能を併せ持つ「宮崎県身体障害者相談センター」として、清武町(当時)に移転した。

平成21年2月、高次脳機能障がい総合相談・支援拠点機関に指定され、同障がいに関する総合相談、普及啓発等を本格的に開始した。

さらに、障害者自立支援法の施行をはじめとする障がい者支援制度の変遷や地域リハビリテーションの推進、環境の変化などに対応するため、平成22年4月、宮崎市霧島の県総合保健センター内に移転し、身体障がい者や高次脳機能障がい者の福祉の増進に取り組んでいる。

II 施設の概要

- 1 所在地 〒880-0032 宮崎県宮崎市霧島1丁目1番地2
(宮崎県総合保健センター内)
(電話) 0985-29-2556 (FAX) 0985-31-3553
(E-mail:shintaisyogaisya-sodan-c@pref.miyazaki.lg.jp)

2 施設

- 1階 整形外科判定室／補装具相談室／言語療法・相談室
4階 リハビリテーション・交流室(中央保健所との共用)
5階 事務室／聴覚相談室／聴覚検査室／心理判定・相談室

Ⅲ 組織及び職員数（令和 7 年度）

令和 7 年 4 月 1 日現在

(職員)				
所 長 — 主幹兼主任 —	理学療法士			1
	作業療法士			1
	看護師			1
	身体障害者手帳等事務担当			2
	庶務担当			2
				9 名
(会計年度任用職員)				
	高次脳機能障がい支援コーディネーター			1
	補装具判定事務員	1	更生医療判定事務員	1
	心理判定員	1	手帳判定事務員	1
	言語聴覚士	1		
				6 名
(嘱託医師等)				
	整形外科	3	耳鼻咽喉科	1
	内 科	2	眼 科	1
			歯科口腔科	1
				8 名
(身障手帳諮問医)				
	整形外科	3	循環器科	2
	呼吸器・泌尿器・耳鼻咽喉・眼科		各 1	
				9 名

Ⅳ 業務の内容

宮崎県身体障害者相談センターは、身体障害者福祉法第 11 条第 1 項に基づき設置された「身体障害者更生相談所」である。

身体障害者更生相談所の業務の概要は、「設置運営基準」（平成 15 年 3 月 25 日付け厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長通知）により、

- ① 身体障がい者に関する専門的な知識及び技術を必要とする相談及び指導業務
- ② 身体障がい者の医学的、心理学的及び職能的判定並びに補装具の処方及び適合判定業務
- ③ 市町村が行う援護の実施に関し、市町村に対する専門的な技術援助及び助言、情報提供、市町村相互間の連絡調整、市町村職員に対する研修、その他必要な援助及びこれらに付随する業務
- ④ 地域におけるリハビリテーションの推進に関する業務となっている。

また、障害者総合支援法により、市町村が行う介護給付費等の支給要否決定に関し、市町村の求めに応じて技術的事項についての協力等を行うこととされている。

これらの業務に加えて、身体障害者手帳の認定・交付業務及び聴力に障がいのある者や児の相談・専門的検査を実施している。

さらに、平成 21 年 2 月からは、高次脳機能障がい総合相談・支援拠点機関として、同障がいに関する支援を行っている。

当センターでは、これらの業務を、身体障害者更生相談所関連業務及び高次脳機能障がい総合相談・支援拠点機関業務に大別し、諸事業を進めている。

1 身体障害者更生相談所関連業務

(1) 相談支援事業

①地域リハビリテーション事業

理学療法士及び作業療法士が、障害者支援施設等の職員や利用者等を対象にリハビリテーションの訓練指導を行うほか、在宅の身体障がい者等に対し住宅改造等の専門相談等、QOL（Quality of Life＝生活の質）の向上のための助言指導を行うとともに、関係団体との連携、協力によって、地域リハビリテーションの推進を図っている。

②総合相談事業

聴こえとことばの相談（毎週火曜日）、高次脳機能障がい相談及びリハビリテーションや補装具等についての相談（随時）を実施している。

(2) 判定・手帳交付事業

①補装具判定業務

補装具について、来所による給付の要否判定及び処方を実施するほか、県内5市(都城、延岡、日南、小林、日向)で巡回判定を行っている。

②聴覚検査相談事業

一般の耳鼻科では検査が難しい者に対して、自覚的・他動的な聴力検査を行っている。また、ことばや聴こえに心配がある児の聴覚検査・聴覚相談を実施するとともに、心理判定員による発達検査や言語聴覚士によることばの指導等を行っている。

さらに、補聴器給付の要否判定を行うとともに、給付された補聴器が最適に使用できるよう補聴器相談を実施している。

③更生医療判定業務

身体障がい者の障がいの除去または軽減を図る更生医療の要否判定を行うとともに、事業の実施主体である市町村が適正に給付できるよう助言を行っている。

⑤ 身体障害者手帳交付業務

中核市の宮崎市を除く県内25市町村についての身体障害者手帳の認定・交付業務を行っている。

(3) 普及啓発事業

①情報提供・PR事業

ホームページ、広報誌「ハビリス」などの発行により、各種手続、相談・判定業務のスケジュール等について、幅広く県民へ情報提供を行っている。

また、宮崎大学医学部4年生及び5年生の実習を受け入れ、障がい福祉業務に関する研修を行っている。

2 高次脳機能障がい総合相談・支援拠点業務

(1) 相談支援事業

①相談支援対応事業

高次脳機能障がい支援コーディネーターや各専門職員による専門性を活かした総合的な相談支援を行っている。

②家族会支援事業

孤立しがちな高次脳機能障がい者やその家族をピアカウンセリング等により支援するため、家族会の活動支援を行っている。

(2) 普及啓発事業

情報誌、ホームページ、ラジオ放送による案内のほか、リーフレット・ポスター・チラシ等の配布及び市町村や関係機関の情報紙への記事の掲載、啓発パネル展の開催並びに研修会・出前講座・会議等における高次脳機能障がいの説明等を行っている。

(3) 研修事業

医療・福祉・教育・行政関係者等を対象とした研修会を開催している。

(4) 高次脳機能障がい通所教室運営事業（令和7年度～）

高次脳機能障がい者等が、障がいについて学び、社会参加に必要な知識や技能を集団で訓練する「通所教室」（全24回、週1回6か月）を令和4～6年度に開発・運営してきたが、令和7年度においては、高次脳機能障がい者等のニーズに応じたプログラムのコンパクト化等を進める。

具体的には、①通常プログラム（既存の24回1教室）、②短期プログラムの研究開発・実践に取り組む。

特に、②については、回復期病棟を有する医療機関等への委託により、受託者の専門的見地に基づく問題解決に向けたプログラムを研究開発・実践予定。

併せて、教室の様子を支援者や医療職を目指す学生等に公開することにより人材育成を図るとともに、パブリシティを活用することにより、県民へ高次脳機能障がいについての周知・啓発を行う。

令和7年度 判定・相談等日程表(Ⅳ-1-(2)-①～③)関連)

種 別	期 日 等	時 間
定例判定	◎ 耳鼻咽喉科（更生医療・補聴器）（火曜日）	書面判定
	◎ 内科・整形外科（更生医療）（水曜日）	書面判定
	◎ 整形外科(補装具) ～ 水曜・木曜（2～3回／月）	※水曜日の診察は、 午後2時からです。 新規受付は、 午後1時半から2時。 適合判定受付は、 午後2時から2時半。 ※木曜日の診察は、 午後2時半からです。 新規受付は、 午後2時から2時半。 適合判定受付は、 午後2時半から3時。
	4月 16日、30日	
	5月 14日、21日、28日	
	6月 11日、18日、25日	
	7月 9日、30日	
	8月 20日、28日	
	9月 11日、17日	
	10月 8日、29日	
	11月 13日、19日	
	12月 3日、18日、24日	
来 所・ 相 談 等	◎ 総合相談	
	○ひだまり（聴こえとことばの相談）（火曜日）	9：30～15：30
	○高次脳機能障がい相談	9：30～15：30
	◎ 地域リハビリテーション相談（理学療法士、作業療法士）	10：00～16：00
	◎ 補装具、福祉用具等の相談（理学療法士、作業療法士）	10：00～16：00
電話相談	◎ 言語評価・相談（火曜日）	9：30～15：30
	◎ 聴力検査（補聴器相談）（火曜日）	13：30～16：00
	◎ 電話やFAXによる相談（月曜日～金曜日）	
	電 話 0985-29-2556 FAX 0985-31-3553	9：00～16：00

令和7年度 巡回（補装具判定）整形外科(Ⅳ-1-(2)-①関連)

年	月	日	曜日	会 場		受付時間
令和7年	4	15	火	延岡市	(延岡保健所・県立延岡病院)	延岡市以外 新規 13時45分～14時 適合 14時～14時30分 延岡市 適合 10時30分～11時 新規 13時30分～14時
	4	25	金	小林市	(小林保健所)	
	5	16	金	都城市	(都城保健所)	
	6	6	金	日向市	(日向保健所)	
	6	20	金	日南市	(日南保健所)	
	7	1	火	延岡市	(延岡保健所・県立延岡病院)	
	7	11	金	都城市	(都城保健所)	
	9	12	金	小林市	(小林保健所)	
	9	26	金	都城市	(都城保健所)	
	10	7	火	延岡市	(延岡保健所・県立延岡病院)	
	10	31	金	日南市	(日南保健所)	
	11	7	金	日向市	(日向保健所)	
	11	21	金	都城市	(都城保健所)	
令和8年	1	16	金	都城市	(都城保健所)	
	1	20	火	延岡市	(延岡保健所・県立延岡病院)	
	1	30	金	小林市	(小林保健所)	
	2	6	金	日南市	(日南保健所)	
	2	27	金	日向市	(日向保健所)	
	3	13	金	都城市	(都城保健所)	
計 19回 内訳： 都城市 6回、 延岡市 4回、 日南市 3回 小林市 3回、 日向市 3回						

V 令和6年度 業務の実施状況

1 相談・判定全般の状況

(1) 定例判定及び来所・電話相談の状況

(単位：人、件)

（単位：人、千）

年 度	取扱 実人員	相 談 内 容						判 定 内 容					交付 判定書 件数
		定例 判定	来所・電話相談				計	医学的判定		心理 判定	職 能 判 定	計	
			施設 入 所	身 障 手 帳	心 理 相 談	そ の 他		更生 医 療	補 装 具				
30	4,315	803	0	117	64	314	1,298	2,343	610	64	0	3,017	2,953
元	4,449	784	0	109	105	378	1,376	2,350	618	105	0	3,073	2,968
2	4,072	682	0	189	50	365	1,286	2,190	546	50	0	2,786	2,736
3	3,677	853	1	205	73	427	1,559	1,417	628	73	0	2,118	2,045
4	3,526	760	0	176	92	416	1,444	1,429	561	92	0	2,082	1,990
5	3,606	848	0	153	89	295	1,385	1,486	646	89	0	2,221	2,132
6	3,817	811	0	199	93	386	1,489	1,606	629	93	0	2,328	2,235

※ 更生医療の医学的判定は、書面判定である。

※ 心理相談・心理判定は、カウンセリングを含む件数である。

(2) 巡回判定の状況

(単位：人、件)

年 度	取扱 実人員	相 談 内 容				医学的 判 定	交付 判定書 件数
		補 装具	身 障手 帳	そ の他	計	補 装具	
30	154	154	0	0	154	82	82
元	175	175	0	0	175	98	98
2	204	204	0	0	204	102	102
3	167	167	0	0	167	106	106
4	176	176	0	0	176	119	119
5	145	145	0	0	145	103	103
6	158	158	0	0	158	112	112

(3) 巡回判定における補装具判定地域別件数の状況

(単位：件)

開催場所	実施回数	車椅子	義肢	装具	姿勢保持装置	電動車椅子	計
都城市	7	8	20	35	1	3	67
延岡市	5	3	8	16	1	0	28
日南市	3	3	10	20	1	0	34
小林市	3	0	1	12	0	1	14
日向市	3	0	4	9	1	1	15
計	21	14	43	92	4	5	158

※ 給付に関する判定と適合判定との計である。

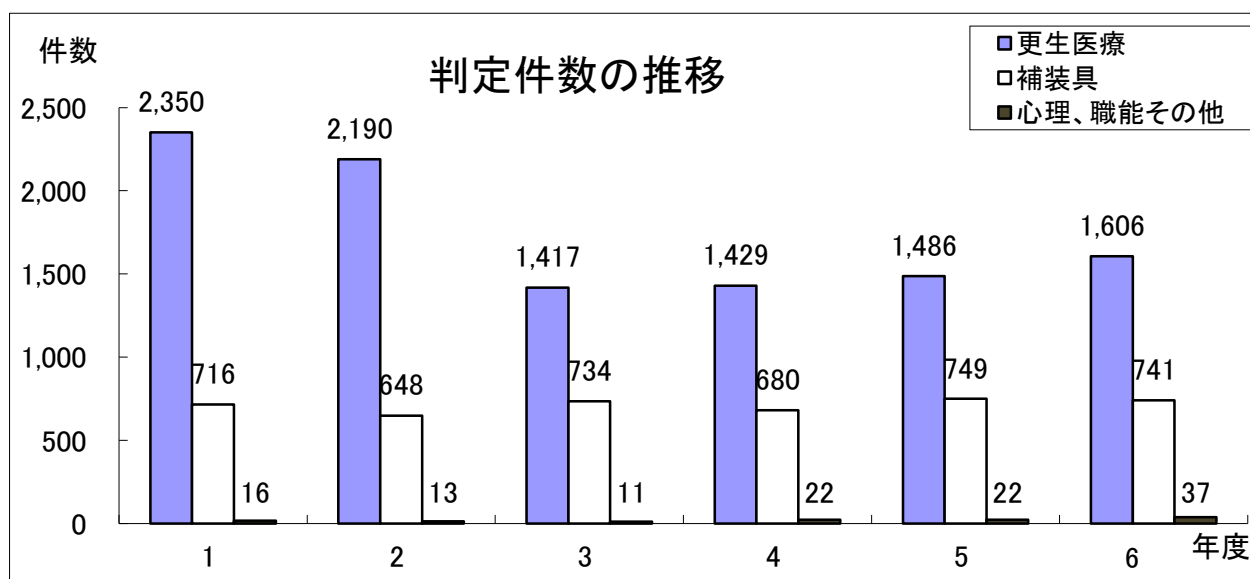
2 判定業務の実施状況

(1) 判定種別件数

(単位：件)

種別 年度	更生医療	補装具	心理	職能その他	合計
令和元	2,350	716	16	0	3,082
2	2,190	648	13	0	2,851
3	1,417	734	11	0	2,162
4	1,429	680	22	0	2,131
5	1,486	749	22	0	2,257
6	1,606	741	37	0	2,384

※ 給付に関する判定件数である。



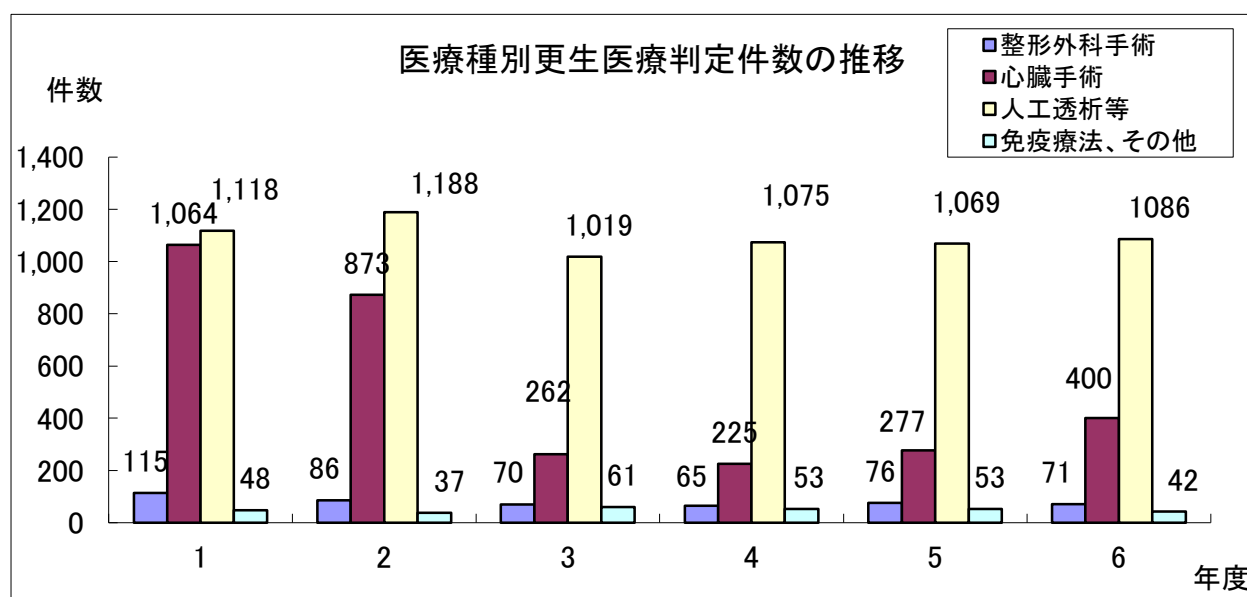
(2) 更生医療判定の種別

(単位：件)

種別 年度	整形外科手術	心臓手術	人工透析等	免疫療法 その他	非該当	合 計
令和元	115	1,064	1,118	48	5	2,350
2	86	873	1,188	37	6	2,190
3	70	262	1,019	61	5	1,417
4	65	225	1,075	53	11	1,429
5	76	277	1,069	53	11	1,486
6	71	400	1,086	42	7	1,606

※人工透析等は、血液透析、腹膜透析、内容変更、腎移植、腎移植の免疫抑制の合計

※免疫療法その他は、免疫障害、眼科・耳鼻科・歯科の手術、肝移植、肝移植の免疫抑制の合計

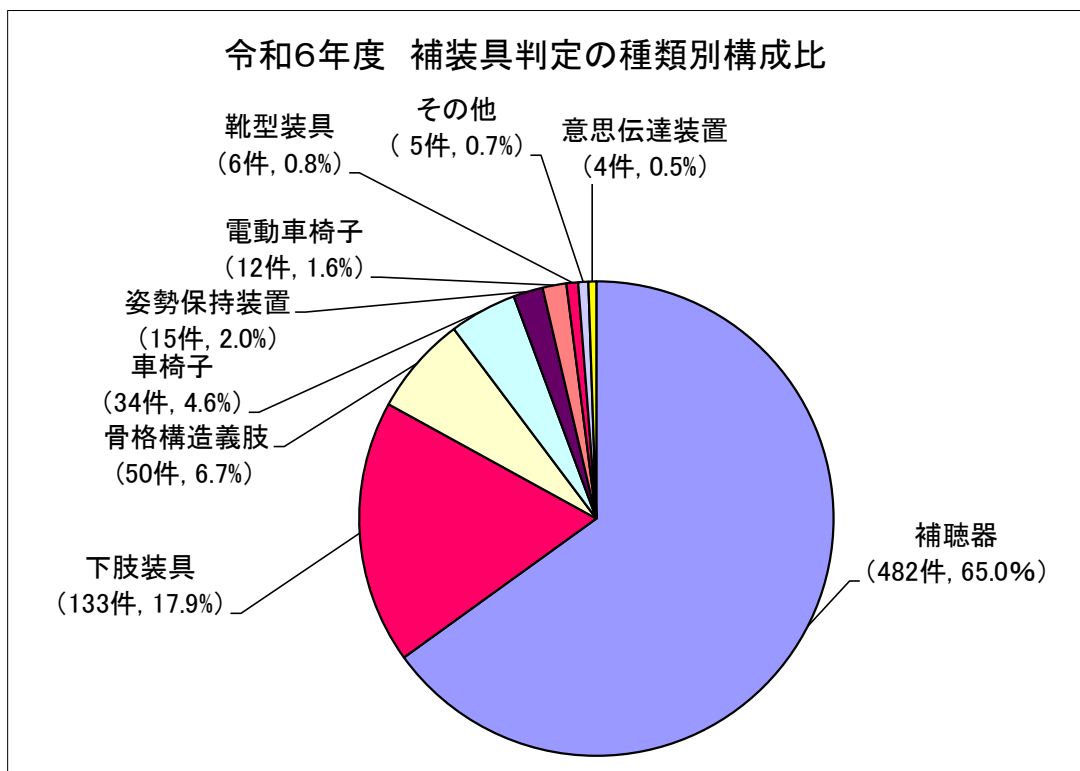


(3) 補装具判定の種類別件数(給付に関する判定)

(単位:件)

年度 種別		令和元	2	3	4	5	6
車 椅 子		58	35	42	40	48	34
電 動 車 椅 子		14	13	18	19	20	12
小 計		72	48	60	59	68	46
殻 構 造 義 肢		5	4	7	2	4	1
骨 格 構 造 義 肢		47	58	64	54	49	50
上 肢 装 具		3	0	0	3	4	1
体 幹 装 具		2	2	2	4	2	3
下 肢 装 具		116	123	140	150	123	133
靴 型 装 具		14	6	4	11	6	6
姿 勢 保 持 装 置		22	13	20	8	23	15
小 計		209	206	237	232	211	209
補聴器	ポケット型	28	22	16	23	15	21
	耳かけ型	390	353	405	350	431	449
	耳あな型・その他	9	10	10	13	9	12
小 計		427	385	431	386	455	482
意 思 伝 達 装 置		8	9	6	3	15	4
合 計		716	648	734	680	749	741

※適合判定の件数は、含まない。



(4) 聴力検査及び補聴器相談件数

(単位:件)

種別 \ 年度		令和2	3	4	5	6
乳児検査	A B R (聴性脳幹反応検査)					
	C O R (条件詮索反応検査)	14	20	11	16	5
	B O A (聴性行動反応検査)					
幼児検査	プレイオージオメトリー (遊戯聴力検査)					
	純音聴力検査	45	72	51	53	15
	語音弁別聴力検査					
補 聴 器 相 談		3	2	3	2	2
計		62	94	65	71	22

※ 複数の検査を組み合わせて行っている場合は、重複して計上している。

(5) ひだまり(聴こえとことばの相談)心理検査件数

(単位:件)

種別 \ 年度		令和2	3	4	5	6
心理検査	18才以上	0	0	0	0	0
	18才未満	26	49	35	23	11
計		26	49	35	23	11

(6) ことばの相談・評価件数

(単位:人(延べ人数))

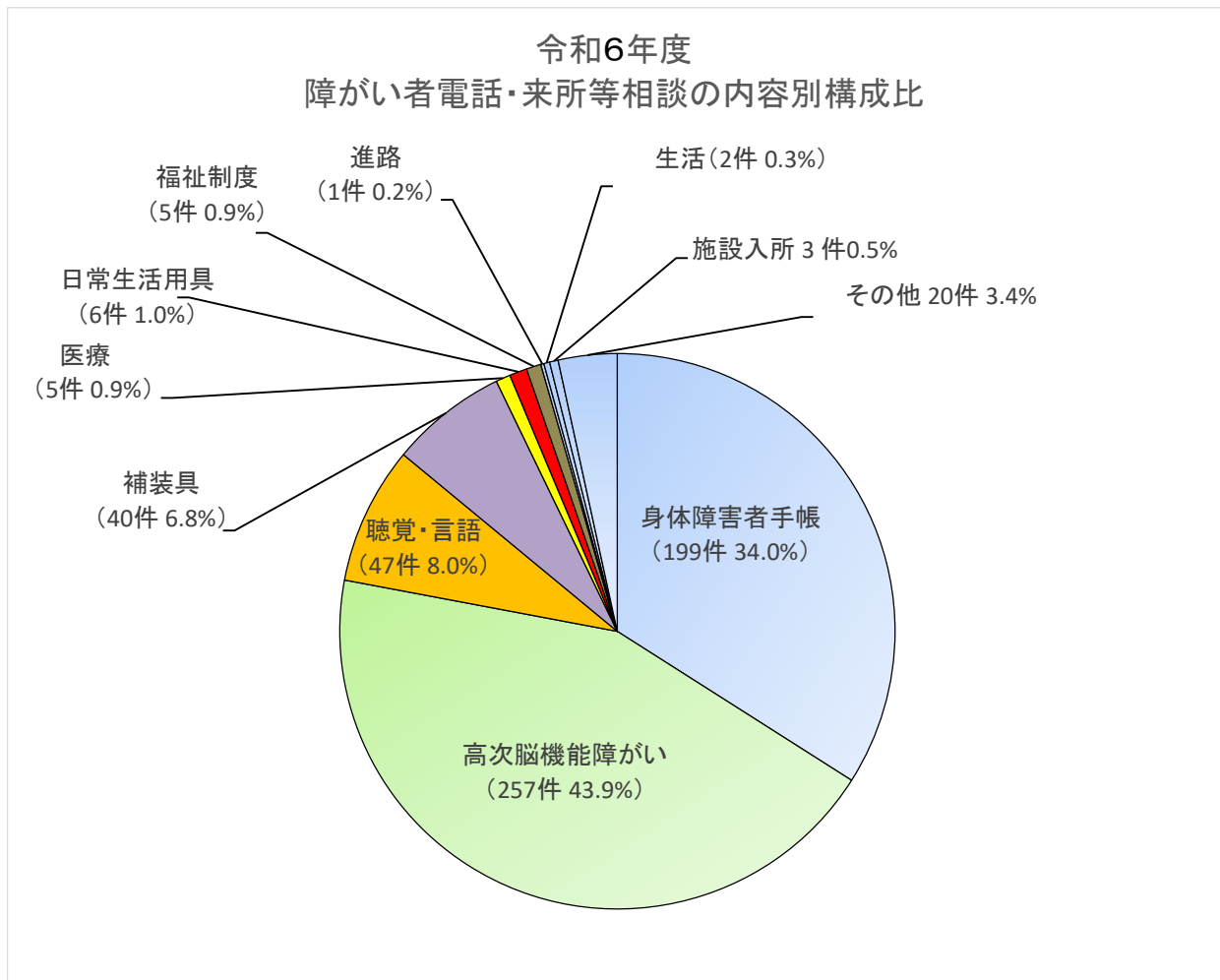
年 度	令和2	3	4	5	6
評価件数	72	116	103	140	175

※ 聴こえとことばの相談等の中で、言語聴覚士が言語評価を実施した件数。

3 障がい者電話・来所等相談状況

(単位:件)

相談内容 年度	医 療	補 装 具	身体 障害 者手 帳	進 路	施 設 入 所	生 活	福 祉 制 度	日 常 生 活 用 具	聴 覚	言 語 訓 練 関 係	高 次 脳 機 能 障 が い	そ の 他	計
30	24	112	117	2	0	0	37	0	25	50	183	19	569
元	36	69	109	0	0	1	30	0	18	56	269	4	592
2	32	93	189	1	0	0	18	0	11	60	263	14	681
3	25	42	205	0	1	0	28	0	8	89	239	21	658
4	7	70	176	2	0	0	26	0	8	44	245	14	592
5	7	56	153	2	0	0	2	5	7	55	144	17	448
6	5	40	199	1	3	2	5	6	2	45	257	20	585



4 地域リハビリテーション推進の状況

(1) 令和6年度 訪問指導等の実施状況

種 別	施 設 名 (所在地)	実施回数
自 立 訓 練		0回
高次脳機能障がい者通所事業	身体障害者相談センター、 宮崎保健福祉専門学校等	48回
計	延べ人数 226名	48回

(2) 訪問指導等の内容・内訳

(単位:人)

年度 種別	令和元	2	3	4	5	6
生 活 指 導	99	20	3	0	0	1
福 祉 用 具 相 談	22	10	0	0	0	5
住 宅 改 造 相 談	0	0	0	0	0	0
高次脳機能障がい通所事業				111	226	199
計	121	30	3	111	226	205
実 人 数	5市町村 14回 121人	4市町村 6回 30人	1市町村 1回 3人	当センター等 24回 111人	当センター等 48回 226人	5市町村 等 48回 205人

※延べ人数

5 身体障害者手帳交付状況

(1) 身体障害者手帳処理(受付)件数

(単位:件)

	新規	再交付 (程度変更・別障害)	(却下・取下げ)		居住地等変更	返還	紛失・破損	合計
			却下	取下げ				
令和6年度	2,208(31)	2,140(20)	(28)	(23)	1,135	2,884	84	8,451

※ 宮崎市交付分は含まない。

※ 紛失・破損は、管内8市(権限委譲)による交付分は含まない。

※ 新規・再交付の()内の数は、新規・再交付申請の却下・取下げの内数である。

(2) 身体障害者手帳新規・再交付別交付件数

(単位:件)

項目 \ 年度	令和元	2	3	4	5	6
新規交付数	2,350	2,156	1,949	1,965	2,062	2,177
再交付数	2,020	1,891	1,852	2,038	1,971	2,120
合計	4,370	4,047	3,801	4,003	4,033	4,297

※ 宮崎市交付分は含まない。

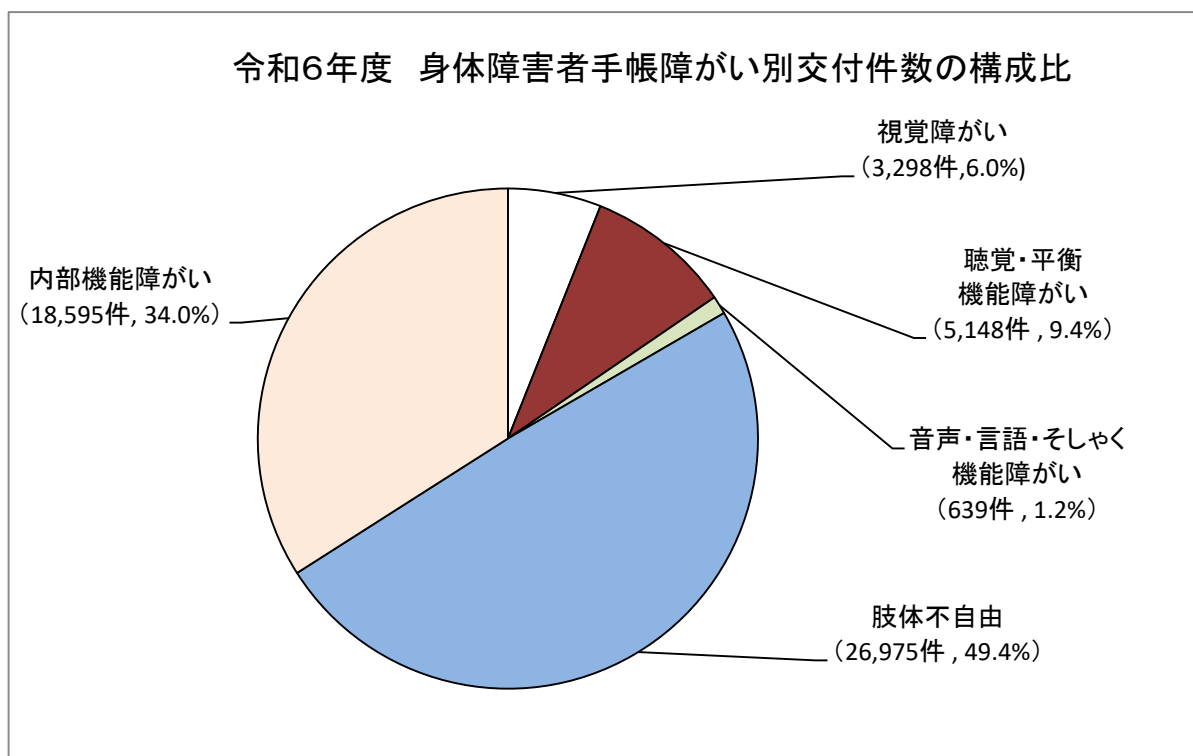
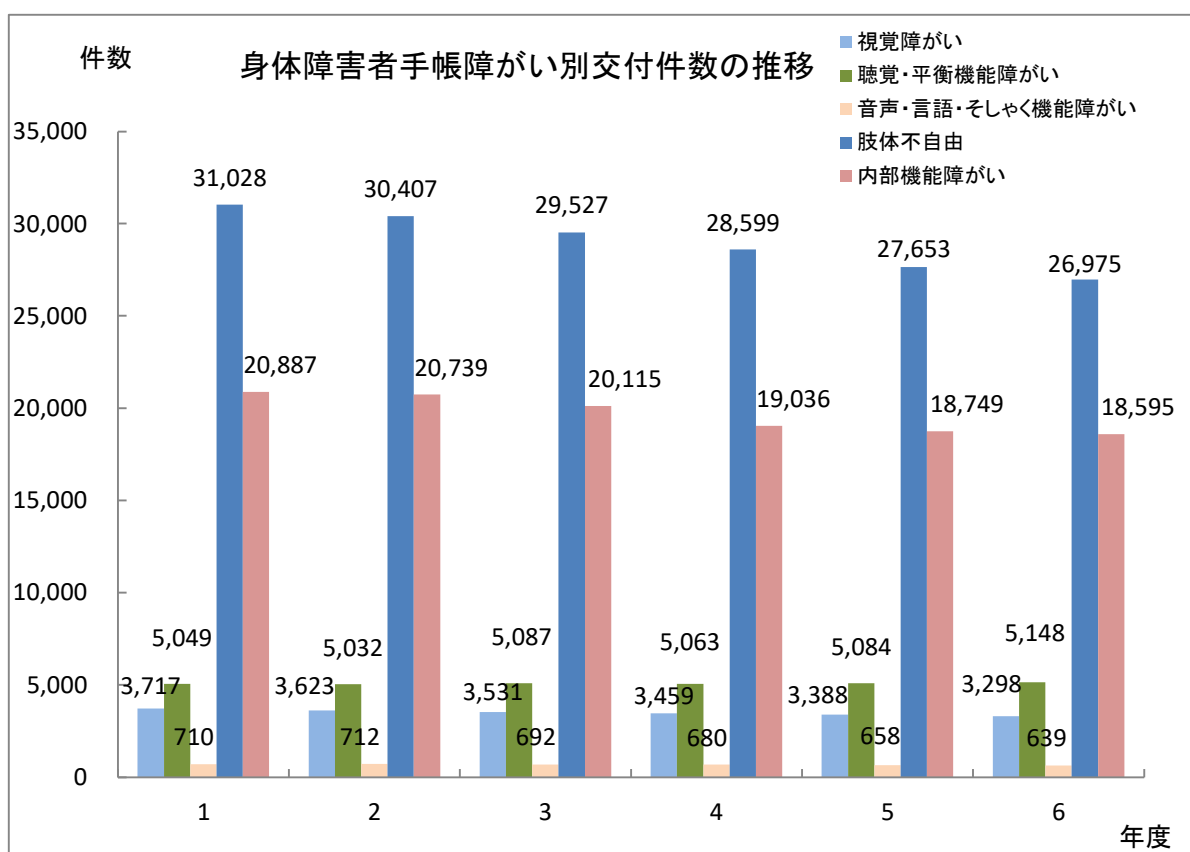
(3) 身体障害者手帳障がい別交付件数

(単位:件)

項目 年度	視 覚	聴覚・ 平衡	音声・ 言語	肢 体 不自由	内 部 障がい		合 計
						(心臓機能)	
令和元	3,717	5,049	710	31,028	20,887	13,664	61,391
2	3,623	5,032	712	30,407	20,739	13,457	60,513
3	3,531	5,087	692	29,527	20,115	12,860	58,952
4	3,459	5,063	680	28,599	19,036	11,734	56,837
5	3,388	5,084	658	27,653	18,749	11,478	55,532
6	3,298	5,148	639	26,975	18,595	11,335	54,655

※ 宮崎市交付分を含む県計である。

※ (心臓機能)の数は、内部障がいの内数である。



6 情報提供・研修等の実施状況

(1) 情報誌の発行等

○情報誌「ハビリス」の発行
年2回(10月、3月) 3,000部

○ホームページによる情報提供

各種手続、相談・判定業務スケジュール等を掲載

○啓発ポスター、啓発チラシの配布

(2) 研修事業

○市町村身体障がい者福祉関係業務担当国会議

「身体障害者手帳、更生医療、補装具、その他個別事業について」

○宮崎大学医学部生の研修(年18回)

「身体障害者手帳、更生医療、補装具について」

○宮崎保健福祉専門学校生の研修

「身体障害者手帳、更生医療、補装具について」

○補装具製作事業者及び車椅子・電動車椅子等取扱事業者との意見交換会

7 高次脳機能障がい支援の実施状況

(1) 相談支援の状況

①相談件数

相談者別 手段	当事者関連			業務関連	計	当事者関連の 新規・継続の別	
	当事者	家族	支援者			新規	継続
面接	24	18	5	10	57	新規	継続
電話	55	46	41	50	192	97	67
メール・郵便等	2	2	0	4	8	(60%)	(40%)
計	81	66	46	64	257	164	
			110				
	当事者関連			193			

②当事者関連の相談項目別件数（1件につき複数項目ある場合はそれぞれ計上）

項目	確定診断 関連	就労 関連	受療 関連	支援 方法	生活 訓練関連	社会 参加	支援 制度	葛藤等	情報 関連	計
数	19	33	20	96	78	25	42	143	134	590

(2) 研修会

①講演会の開催

期日	研修名・講師	会場	対象	参加
令和6年 7月 6日 (主催)	令和6年度第1回高次脳機能障がい啓発セミナー 1. 高次脳機能障がいの児童生徒への理解と支援 ～関係機関と連携した包括的支援の実践～ 講師：林田 麻理子 氏 元 東京都特別支援学校 主幹教諭	宮崎県 立図書館	医療・福祉・ 保健・行政・ 教育機関の関係 者、当事者・家 族、一般の方等	120 名
令和6年 10月 20日 (共催)	令和6年度高次脳機能障がい市民公開講座 1. 「家族が思う子どもの高次脳機能障害 ～ハイリハキッズの活動から～」 講師：中村 千穂 氏 2. 「高次脳機能障害の特性について」 講師：幸田 剣 氏	宮崎市 民文化 ホール	リハビリテーシ ョン関係者・行 政職員・当事 者・家族の方々	62 名
令和7年 1月 25日 (主催)	令和6年度第2回高次脳機能障がい啓発セミナー 高次脳機能障がい特性から見た合理的配慮と支援 講師：廣瀬 綾奈 氏	県総合 保健セ ンター	医療・福祉・保健・ 行政・当事者・ 家族・一般の方 等	122 名
令和7年 2月 6日 (委託)	令和6年度高次脳機能障がい講演会 テーマ：高次脳機能障害の治療と仕事の両立支援 講師：佐伯 寛 氏 産業医科大学リハビリテーション医学講座	県医師 会館及 びオン ライン	医師・医療機関 の職員	72 名

計 376 名

② 出前講座の実施（テーマ別）

テーマ：高次脳機能障がい理解と支援

実施者：高次脳機能障がい支援コーディネーター

期日	対象	方式	参加
7月3日	地域包括支援センター職員 宮崎市総合福祉保健センター	対面	32名
7月29日	教職員 赤江まつばら支援学校	対面	28名
8月24日	介護福祉士 宮崎県福祉総合センター	対面	30名
9月18日	市職員 宮崎市（障がい福祉課）研修室	ハイブリッド	60名
令和7年 2月20日	介護士・看護師等 社会福祉法人まほろば福祉会	対面 オンデマンド	30名

（3）普及啓発事業

- ① 情報紙「ハビリス」発行 計2回
- ② 「リーフレット」「ポスター」「チラシ」「研修会チラシ」等配布
- ③ 県内公共図書館、及び県庁防災庁舎、会議、セミナー等でのパネル展示 計6回
- ④ 講演会開催、研修実施、出前講座、会議等での通所教室「結」関連の情報提供

（4）みやざき高次脳機能障がい家族会あかりの活動支援

- ① 定例会会場の調整・設定 定例会参加 7回
身体障害者相談センターの取組報告及び意見交換等

（5）会議への参加等

- ① 高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会への参加 2回
- ② 高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議への参加 2回

（6）高次脳機能障がい通所センター運営事業（令和4年度～）

- ① 通所教室「結」の開設、運営の概要
（年末年始、祝日を除く）午後1時30分～3時30分まで
A教室 潤和会記念病院
令和6年4月9日（火）～令和6年9月17日（火）毎週火曜日 全24回
B教室 宮崎保健福祉専門学校
令和6年9月26日（木）～令和7年3月13日（木）毎週木曜日 全24回
- ② 実績
修了者数：A教室6名（1名中断） B教室名4名
見学者数：延べ 239名
報道数：延べ 13社

資 料

- 1 令和 6 年度 身体障害者手帳市町村別交付状況
- 2 令和 6 年度 更生医療判定（市町村別・内容別）件数
- 3 令和 6 年度 補装具判定（市町村別・種類別）件数

1 令和6年度 身体障害者手帳市町村別交付状況

令和7年3月31日現在（単位：件）

市町村名	視 覚	聴 平 覚 衡	音 声 言 語 そしやく	肢 体 不 自由	内 部 障 害 合 計	心 臓	呼吸器	腎 臓	直 腸 ぼうこう	小腸他	肝臓	合 計
宮崎市	1,148	1,551	188	7,864	5,652	3,167	199	1,452	690	101	43	16,403
都城市	423	820	87	4,957	2,594	1,428	109	668	329	35	25	8,881
延岡市	346	605	78	2,678	2,233	1,493	28	472	214	13	13	5,940
日南市	157	341	41	1,473	1,122	717	35	211	143	12	4	3,134
小林市	172	181	29	1,341	745	478	17	135	105	8	2	2,468
日向市	167	295	34	1,529	1,256	862	20	234	117	10	13	3,281
串間市	80	161	13	565	389	238	22	79	45	1	4	1,208
西都市	121	170	27	750	568	365	22	105	67	3	6	1,636
えびの市	80	136	11	731	421	240	26	95	54	1	5	1,379
三股町	80	104	13	765	347	209	19	69	44	3	3	1,309
高原町	33	47	12	356	202	138	6	23	31	2	2	650
国富町	83	103	27	497	397	263	13	69	46	4	2	1,107
綾 町	20	29	5	204	162	118	4	26	12	1	1	420
高鍋町	53	73	8	406	430	277	17	84	44	4	4	970
新富町	34	93	12	370	283	165	6	74	33	3	2	792
西米良村	12	12	2	36	22	14	2	6	0	0	0	84
木城町	15	21	3	160	79	46	3	25	5	0	0	278
川南町	63	80	9	413	337	203	25	71	32	1	5	902
都農町	35	53	7	310	206	128	11	40	22	4	1	611
門川町	43	81	9	432	367	264	5	62	31	2	3	932
諸塚村	4	15	0	52	48	32	0	10	6	0	0	119
椎葉村	23	39	4	137	109	73	8	16	11	0	1	312
美郷町	19	49	6	253	178	143	2	26	6	1	0	505
高千穂町	57	55	9	430	282	166	12	70	32	0	2	833
日之影町	14	21	2	165	79	47	5	19	8	0	0	281
五ヶ瀬町	16	13	3	101	87	61	0	15	8	1	2	220
合 計	3,298	5,148	639	26,975	18,595	11,335	616	4,156	2,135	210	143	54,655

2 令和6年度 更生医療判定（市町村別・内容別）件数

令和7年3月31日現在（単位：件）

市 町 村	整形 手術	心臓 手術	血液 透析	腹膜 透析	内容 変更	腎 移植	免疫 抑制	眼科 手術	耳鼻 科	その 他	非該 当	合 計
宮 崎 市	7	179	127	16	182	9	1	0	0	12	0	533
都 城 市	35	24	76	3	146	4	2	0	0	10	2	302
延 岡 市	11	45	41	0	101	1	2	0	0	3	1	205
日 南 市	4	10	37	1	33	2	0	0	0	0	1	88
小 林 市	1	11	6	1	5	0	3	0	0	0	0	27
日 向 市	1	27	22	0	39	0	0	0	0	4	0	93
串 間 市	5	1	16	0	2	1	1	0	0	1	2	29
西 都 市	1	21	8	2	15	2	0	0	0	4	0	53
え び の 市	1	1	5	0	6	0	0	0	0	1	1	15
三 股 町	2	5	7	1	10	0	0	0	0	1	0	26
高 原 町	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	5
国 富 町	1	13	4	2	1	0	0	0	0	0	0	21
綾 町	0	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	7
高 鍋 町	1	9	12	0	4	1	0	0	0	0	0	27
新 富 町	0	8	11	2	12	0	0	0	0	1	0	34
西 米 良 村	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3
木 城 町	0	4	4	1	2	0	0	0	0	0	0	11
川 南 町	0	8	7	0	16	0	0	0	0	0	0	31
都 農 町	0	5	5	0	16	0	0	0	0	1	0	27
門 川 町	0	12	7	0	13	0	0	0	0	0	0	32
諸 塚 村	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
椎 葉 村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
美 郷 町	0	5	3	0	2	0	0	0	0	0	0	10
高 千 穂 町	0	3	6	0	1	0	1	0	0	0	0	11
日 之 影 町	0	2	2	0	4	0	0	0	0	0	0	8
五 ヶ 瀬 町	0	0	2	0	0	0	0	0	0	4	0	6
合 計	71	400	416	29	611	20	10	0	0	42	7	1,606

※内容変更は、人工透析にかかる医療内容変更

※全て書面判定の件数

3 令和6年度 補装具判定（市町村別・種類別）件数

令和7年3月31日現在(単位:件)

	車椅子	電動 車椅子	殻 構造 義肢	骨格 構造 義肢	上肢 装具	体幹 装具	下肢 装具	靴型 装具	姿勢 保持 装置	補聴器	意思 伝達 装置	非該当	合 計	(適合 判定)
宮崎市	15	8	1	37	0	0	99	6	7	169	1	0	343	85
都城市	7	5	0	19	0	2	38	5	4	81	3	0	164	36
延岡市	8	4	0	8	0	0	24	0	4	48	2	0	98	24
日南市	7	0	0	7	0	0	22	0	1	41	1	0	79	15
小林市	1	1	0	3	0	0	7	0	2	10	0	0	24	6
日向市	3	1	1	5	0	0	9	0	2	24	0	0	45	11
串間市	1	0	2	2	2	0	9	0	1	12	0	0	29	8
西都市	2	0	0	3	0	2	3	0	4	14	0	0	28	7
えびの市	0	0	0	0	0	0	5	0	0	6	0	0	11	2
三股町	9	1	0	4	0	0	8	0	0	8	0	0	30	11
高原町	0	0	0	0	0	0	2	0	0	4	0	0	6	1
国富町	1	0	0	2	0	0	4	1	0	13	0	0	21	4
綾 町	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	4	1
高鍋町	0	0	0	1	0	0	1	0	0	4	0	0	6	1
新富町	3	0	0	0	0	0	5	1	2	15	0	0	26	4
西米良村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
木城町	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1
川南町	0	0	0	3	0	0	0	0	1	5	0	0	9	2
都農町	0	0	0	2	0	2	2	0	0	5	0	0	11	3
門川町	0	0	0	2	0	0	4	0	0	9	0	0	15	3
諸塚村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
椎葉村	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0
美郷町	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	4	1
高千穂町	0	0	0	0	0	0	4	0	0	5	0	0	9	2
日之影町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
五ヶ瀬町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0
県指導監 査・援護課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	58	20	4	101	2	6	248	13	28	482	7	0	969	228

*適合判定を含む件数（適合判定では判定書は交付しない）